

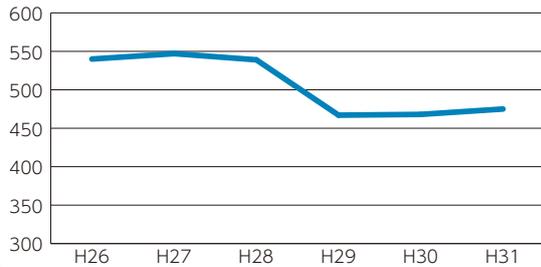
特集

# 南阿蘇村学校事情

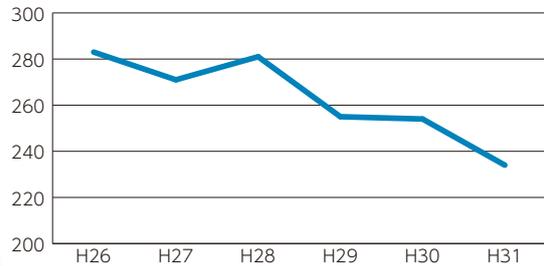
南阿蘇村には現在、5つの小学校と、1つの中学校があります。

地域の中で大切な学校や子どもたちについて、現状や取り組みをご紹介します。

村小学校生徒数



村中学校生徒数



## 村の小中学生は何人？

現在、村の学校に通っている子どもの人数は、小学生475人、中学生234人(平成31年4月)。

5年前に比べて、小中学生の人数は共に減少傾向にあります。

児童・生徒数の減少  
 村の学校に通う子どもたちの人数が減っている背景には、社会や村全体の人口減少、少子化のほか、熊本地震による影響なども一因として考えられます。

村小中学校の児童・生徒数

(人)

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
小学校	540	547	539	467	468	475
中学校	283	271	281	255	254	234

※各年の学校ごとの調査人数について、村内全ての小学校および中学校の児童・生徒数を合計したものとします。

## 南阿蘇中学校の現状

平成28年の開校当時に比べ、南阿蘇中学校の全校生徒数は約50人減っています。生徒数の減少は、クラス数、学校に配置される先生の人数に影響します。教員数の減少に加え、開校と熊本地震から3年が経った現在も学校づくりや子どもたちの心のケアなどへの対応は継続して行っており、先生1人あたりの仕事の負担や役割も大きくなっている中、子どもたちのために頑張っているところです。

## 村民の皆さんへ

本校では防災教育に力を入れています。避難所運営訓練なども行い、内閣府が実施する「防災教育チャレンジプラン」で優秀賞を受賞しました。震災を経験したからこそ、生徒たちも村民の一員として、自助の次は共助を目指し、将来村を担ってほしいと考えています。

保護者の皆さま、地域の皆さまには、いつもご協力いただきありがとうございます。今年度から実施しているコミュニティスクール(学校運営協議会)では、委員となられた村民の方に子どもたちの授業を実際に見てもらう機会なども設け、地域の方々と協力して学校運営に当たっています。

今後とも皆さまのご理解とご支援をお願いいたします。



《インタビュー》  
 南阿蘇中学校 坂梨正文校長

## 学校現場への影響

学校では、各学年の児童・生徒の人数によって学級数が定められています。さらに、学級数に基づいて学校に配置される先生の人数が決められます。児童・生徒数の減少は、学級数の減少、ひいては先生の人数の減少につながります。子どもたちがしっかりと授業や部活動に取り組めるよう、学校や村ではさまざまな場面で支援を行っています。

## 学校と地域の連携



南阿蘇西小学校(山下洋校長)の学校運営協議会

## 子どもを見守る地域の目

今年の6月、村教育委員会から、村内小学校の児童全員に安全ベストが配布されました。通学中の交通事故や声かけ事案の発生などから子どもたちを守りやすくするため、黄色の目立つベストを通学時などに着用してもらっています。

各校区では、地域の皆さんによって登下校中の子どもたちを見守るボランティアも行われています。

まずは学校行事を見に行ってみるなど、身近なところから学校と子どもたちに関心を寄せていただき、地域全体で村の子どもたちの見守りをお願いします。

## 部活動・委員会活動

部活動や委員会活動自体の数(種目)が限定され、活動に困難が生じるといった状況があります。

部活動では既定の競技人数に満たないため、近くの学校と合同で活動するなどの工夫が図られています。

南阿蘇中学校では、女子バレー部が一宮中学校との合同チームで6月の中体連に参加。生徒会・委員会活動も生徒たちと内容を見直し、今年再編されました。

## 複式学級

1つの学年の人数が一定数を超えると学級(クラス)が分けられますが、上または下の学年と合わせた生徒数が定められた人数(\*)を下回ると、2つ以上の学年をひとまとめにした「複式学級」となります。

複式学級には、学年を超えて児童・生徒の関係が深まりやすいといった利点や、担任の先生は1人で2学年分の授業準備が必要になるなどの課題があります。

村では現在、両併小学校に複式学級が設けられています。

※複式学級となる人数のきまり

上または下の学年と合わせた生徒数が  
〈小学校〉16人以下(1年生を含む場合8人以下)  
〈中学校〉8人以下



教室で授業の様子を見る委員さん(左)



登校を見守る地域の皆さん